

てとてとて

～私がささえる地域でささえる～



【今月号の内容】

特集 ほっとスペース「和田さんち」

表紙：ほっとスペース「和田さんち」

発行 東大和市
担当 介護保険課 TEL 042-563-2111 (内線 1179)
編集・問合せ 東大和市社会福祉協議会
住所 東大和中央3-912-3
TEL 042-564-0012 FAX 042-564-3680



バックナンバーはこちら

本紙は東大和市民のみなさんがいつまでも安心して暮らすために役立つ地域の情報を発信しています。介護予防につながる活動や支え合いの活動などの情報をお伝えしていきます。

情報交換のページ

歌の会若葉

ピアノの生演奏に合わせて、懐かしい唱歌や歌謡曲をみんなで歌っています。

歌にまつわる思い出話にも花が咲き、和やかなひとときを過ごしています。

- ・生演奏に癒されたい方
- ・だれかとつながる時間を持ちたい方
- ・歌うことが好きな方

どなたでもご参加いただけます。

どうぞお気軽にお越しください。

こころ豊かな時間、一緒に過ごしませんか。

活動日：毎月第3火曜日

時間：10:00～11:00

場所：狭山公民館 101

参加費：500円 (当日支払い)



歌の会若葉の皆さん

第2層協議体交流会レポート



令和7年12月3日(水)に中央公民館ホールで実施しました。テーマは「仲間を増やすためにできること」とし、株式会社エンパブリックの広石拓司氏の講演会と第2層協議体の構成員同士のグループディスカッションを行いました。参加者は51名でした。

第2層協議体の構成員同士の交流と意欲の向上やネットワークの構築、学びの機会とすることを目的に実施しています。

第2層協議体は普段、協議体ごとに別々で活動していますが、各協議体から代表者が参加する第2層協議体代表者連絡会があります。そこで交流会の企画を行いました。他にも情報交換を行ったり、共通の課題に関する話し合い等を行っています。



交流会の様子

こんにちは、生活支援コーディネーターです！

生活支援コーディネーターとは…

生活支援コーディネーターは住民同士が支え合い・助け合いができる地域づくりのお手伝いをする専門職です。「サロンに参加してみたい」「地域で何か活動をしたい」などありましたら、是非、地域のほっと支援センターや社会福祉協議会の生活支援コーディネーターにご連絡ください！



令和8年4月から担当になりました崎です。よろしくお願いたします。

編集後記

令和8年4月から担当変更となりました。3年という短い間でしたが、生活支援コーディネーターとして地域の皆さんとお話したり、一緒に活動したり、パワフルな活動を拝見し、私自身励まされたと共に東大和に頼もしい地域の皆さんがいらっしゃることを心強く感じました。今までありがとうございました。これからも皆様の活動を応援しています。(第1層生活支援コーディネーター 高野)

特集 ほんっとスペース「和田さんち」

「和田さんち」って？

和田さんが現在使用していないご自宅の1階部分を地域のために無料で開放してくれています。現在サロンや自治会等の方々利用し、地域活動の拠点の一つとなっています。



「和田さんち」ってどんなところ？



1階にある2部屋とトイレ、台所をお借りできます。外には自転車を止められるスペースもあります。

さらに和田さんのご厚意で、お宅にある備品をお借りできます。

会議で利用する方がいるほか、台所があるので、こども食堂のような会食の場としても利用されています。他にもサロンを行っている団体もあります。



☆借りられる備品：調理器具・食器類、テレビ、DVD、本、楽器など

「和田さんち」の使い方

①和田さんに電話し、希望の時間が空いているか確認します。

②和田さんに予約する旨を伝えます。

☆予約完了です☆



〈部屋①〉6人ほど座れます



〈部屋②〉10人ほど座れます



〈台所〉調理器具や食器もあります

【連絡先】和田さん

電話：090-5317-7145

所在地：東大和市清水4-972-33

こども食堂のほか、サロンや自治会の会合等で使われています！使用をご希望の方は和田さんにご連絡ください。



自宅等を地域のために使いたいという方は、生活支援コーディネーターにご相談ください

ほんっとスペース「和田さんち」誕生にまつわるお話

家主の和田さん、活動者の実川さん、ほんっと支援センターしみずの岡島さんにお話を伺いました。

地域に自宅を開放しようと思ったきっかけは何ですか？

和田： 両親、妻が逝去し、一人になり、この広さでぼつんと一人で時間を持て余していました。緊急通報システムを申し込むため、見守りぼくすに行った際に、家を地域に開放したら喜ぶ人もいるとの話でした。飼い猫とぼーとしても仕方ないので、今まで地域のために何もしてこなかったこともあり、自宅を開放することを決めました。

ほんっと支援センターしみずの岡島さんが活動先を探していた実川さんに「和田さんち」を紹介し、そこから始まりました。

ほんっとスペース「和田さんち」で活動してみても感じたことを教えてください。

実川： 公共施設と異なり、友人や親せきの家に遊びに来たような居心地の良さが魅力です。子どもから大人まで安心してゆっくり過ごし、そこで出会った人とゆるやかにつながれる地域コミュニティの場を探していました。

「和田さんち」はロケーションもよく、大家さんである和田さんも大変親切で積極的に関わっていただけなので、理想以上の場所に出会えたと思っています。

ほんっとスペース「和田さんち」が今後どのような場所になっていったらいいと思いますか？

和田： 寄りたい人が寄り、やりたいことをやる自由なスペースになると良いと思います。色々な人が自由に決める場所なので、こちらで方向性は決めません。色々な人が出入りできる場所になったら良いと思います。

敷居が高いのをどう低くするかを模索しているところです。うちみたいなのが広がって欲しいと思います。

岡島： 地域活動の中心になったら良いと思います。ここを皆に知ってもらいたいです。

実川： 住みながら住まいの一部を貸してくださるという状況に慣れていない人がまだ多いため、皆さん遠慮されていると思います。

多くの人に利用してもらい、地域の中で信頼し合える顔見知りが増える交流の場になると良いと思います。

みなさんが考える「理想の地域」を教えてください。

和田： 「知らない人同士であいさつする、困っていたら助ける」という地域が理想です。ただ、現状では難しいだろうと思います。今は子どもに声をかけると不審者扱いされますが、道ですれちがいざまに挨拶できる社会が良いと思います。

岡島： 「つながりたい人がそう思った時につなげる場所がある地域」だと良いですね。

実川： プライバシーが守られる社会が孤立を生んでいると思います。1人でもどこかつながれる場があると良いです。行き先（つながり）が多いほど、豊かに暮らせるのではないのでしょうか。自宅と職場（学校）の往復だけではなく、地域の中にいろいろな通える場があると良いですね。

自宅を地域のために使いたいと思っている方へメッセージをお願いします。

和田： 自宅を開放しようと思った時に構えずに始めて、1人が2人に、2人が3人につながると思ってやった方が良いと思います。自宅がこういう役に立つ、ということは考えずに、ドアを開けて「入ってきてください」という気持ちでやっています。

「情けは人の為ならず」。人のためにやっているようですが、結局自分のためになるものだと思います。最初から風呂敷を広げて「自分はこの地域のために何をやればいいのか」と構えずに、自分のできる範囲で、例えば地域のごみ拾いなどから始めれば良いのではないのでしょうか。

実川さんが代表を務めるこども食堂

かわせみこども食堂

活動日：第2・第4水曜日

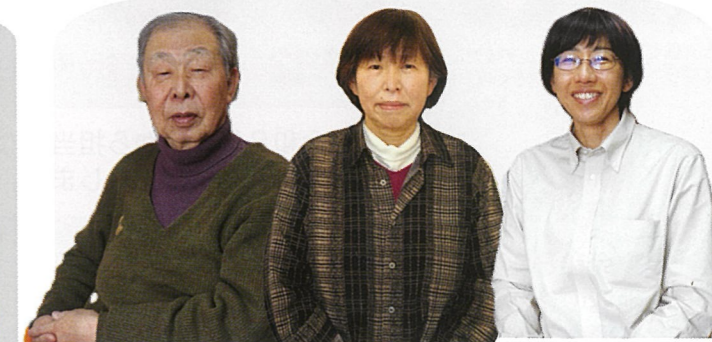
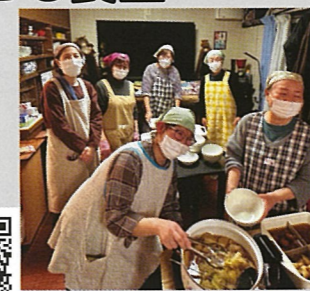
時間：17:30~18:30

参加費：子ども0円

大人300円

その他：要予約。

20名まで。



和田さん、実川さん、岡島さん